

今月の紹介本
生物の宮久保先生です

日本の七十二侯を楽しむ ー旧暦のある暮らしー
白井 明大//文 有賀 一広//絵 東邦出版 2012

季節を感じる

時々、いただくことがある和菓子は、その時期ならではの風物がモチーフになっている。そんな和菓子は甘く優しい舌触りとともに、季節の訪れを教えてくれる。次の和菓子はどんなモチーフかと、楽しみになってきた頃に出会ったのがこの本。一年は七十二侯の季節に分けられ、一侯は一週間にも満たない5日となる。この本は、その一侯に見られる季節の変化とその時期の生き物の様子を伝えてくれる。優しい文章と絵にふれ、侯のことばや旬の草花・鳥のことを知ると、今まで通り過ぎていた細やかな季節の変化を受け止められるようになるから不思議だ。

十月を迎える頃（九月二十八日から十月二日頃）は、「秋分・次侯・蟄虫戸を壊す(すごもりのむしとをとぎす)」とある。虫がかくれて戸をふさぐころ。土の中へ巣ごもりの仕度をはじめ。中秋の名月の頃で、紫色の紫苑が咲き、稲作より前に日本に入っていたといわれている里芋の収穫の時期を迎える。夜空や道端そして食卓に、季節を感じてみたい。

本を読まないデメリット？

1学期の図書委員さんが出してくれた素朴な疑問です。
みんな本を読め読めと言うけれど、じゃあ読まなかったら何か不具合があるのかな？
本の効用は色々語られていますが、デメリットって？？？
先生方にお聞きしてみました！

- 知識や考え方の広がりへの妨げ→**将来の可能性の停滞**
- 活字を読む気がなくなる。
- 語彙力が少なくなる(**表現力が乏しくなる**)
- 追体験して想像力を伸ばせたり、あふれる教養に出会えたり大人になると見え方が変わるとわかるとか、こんな**素敵な機会を逃します。**
- 視野が狭くなる
- 生きていく中で、苦しみ悩んだときの乗り越え方が分からず**自分だけの世界で物事を見てしまう。**
- 一流の人と会話できず歯がゆい思いをする。(なぜなら一流と言われる人はたいてい読書家なので)

こんな本があるよ！
『華氏451度』
レイ・ブラッドベリ 早川書房
本が忌むべき禁制品となった近未来ディストピア小説。映画にもなっている。

いい加減聞き飽きた！という人もやっぱり読まないよりは読んだ方がいいと思うよ？



新書の棚リニューアル

新書のスペースを広げました！選ぶ本が増えますよ～♪
マンガが少し移動しました。その他、迷ったら聞いてね！

2学期
哲学カフェ
やります。参加者募集中。

	002	いつもそばには本があった。		国分 功一郎・互 盛央 // 著 本に関する対談。紹介書籍多数。
S	007	大人のためのメディア論講義		石田 英敬 // 著 デイア・テクノロジーの栄光と悲慘を考察
S	007	ビジュアルAI(人工知能)		城塚 音也 // 著
	007	図解でわかる14歳から知っておきたいAI		インフォビジュアル研究所 // 著
	141	いい緊張は能力を2倍にする:脳科学で緊張を「味方」に変える		樺沢 紫苑 // 著
S	159	男子が10代のうちに考えておきたいこと		田中 俊之 // 著
	167	となりのイスラム:世界の3人に1人がイスラム教徒になる時代		内藤 正典 // 著 シリア・トルコ研究第一人者によるイスラム紹介。
	209	サピエンス全史:文明の構造と人類の幸福	上・下	ユヴァル ノア ハリ著 石器時代から21世紀までの人類の歴史。大ベストセー
	209	帝国主義と世界の一体化	世界史リブレ	木谷 勤 // 著
	209	二つの世界大戦	世界史リブレ	木村 靖二 // 著
	209	「民族」を知れば、世界史の流れが見通せる		関 真興 // 著
B	210	日本人は何を捨ててきたのか		鶴見 俊輔 // 著
	220	東アジアの「近世」	世界史リブレ	岸本 美緒 // 著
	220	変容する近代東アジアの国際秩序	世界史リブレ	茂木 敏夫 // 著
	230	国民国家とナショナリズム	世界史リブレ	谷川 稔 // 著
B	234	普通の人びと:ホロコーストと第101警察予備大隊		クリストファー R. ブラウニング // 著
	235	フランス革命の社会史	世界史リブレ	松浦 義弘 // 著
S	240	新書アフリカ史	改訂新版	宮本 正興 // 編
	302	図解でわかる14歳から知っておきたい中国		北村 豊 // 監修
S	304	知らない恥をかく世界の大問題	10	池上 彰 // [著]
	304	ブラックボックス化する現代:変容する潜在認知		下条 信輔 // 著 認知科学者によるアクチュアルな社会時評集。
	309	みんなの「わがまま」入門		富永 京子 // 著 意見を言うことへの「抵抗感」をときほぐす。
	311	アジアのナショナリズム	世界史リブレ	古田 元夫 // 著
	312	世界地図を読み直す:協力と均衡の地政学		北岡 伸一 // 著 大国の周辺国から国際秩序を見直す?
	316	境界に生きる:暮らしのなかの多文化共生		孫 美幸 // 著
	319	東大白熱ゼミ:国際政治の授業		小原 雅博 // 著 世界的課題の本質をゼロから考える。
	319	国際体制の展開	世界史リブレ	木畑 洋一 // 著
	323	18歳から考える人権		尖戸 常寿 // 編
S	331	競争社会の歩き方:自分の「強み」を見つけるには		大竹 文雄 // 著
	361	リラクスのレッスン:緊張しない・あがらないために		鴻上 尚史 // 著 演劇での経験を踏まえて、実践できる技の紹介
S	361	新・日本の階級社会		橋本 健二 // 著 データを元に現代日本の実情を明らかにする。
	366	雇用は契約:雇用は契約		玄田 有史 // 著 多様化が進む21世紀日本の雇用の現実を見据えて。
S	367	結婚不要社会:「婚活」の提唱者が平成を総括し、令和を予見する		山田 昌弘 // 著
	367	変貌する恋愛と結婚:データで読む平成		小林 盾 // 編
S	367	虐待死:なぜ起きるのか、どう防ぐか		川崎 二三彦 // 著
	367	カミングアウト・レターズ:子どもと親、生徒と教師の往復書簡		RYOJI // 編 同性愛の子どもから親への、生徒から教師への手紙。
	369	意識をデザインする仕事:「福祉の常識」を覆すビジュアルデザインが目指		須藤 シンジ // 著
	376	ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー		グレイティみかこ 通い始めた貧富コチャマゼの「元・底辺中学校」イギリスにて。
S	377	大学選びより100倍大切なこと		筒井美紀 ノートの取り方、本の読み方、食事の心得、教員や友人とのコミュニカ...
	386	日本の伝統行事		村上 竜 // 著
S	391	独ソ戦		大木 毅 // 著
S	404	カガク力を強くする!		元村 有希子 // 著
	413	高校生からわかるフーリエ解析		涌井 良幸 // 著
S	421	2つの粒子で世界がわかる:量子力学から見た物質と力		森 弘之 // 著
S	452	深海-極限の世界		藤倉 克則 // 編著
	480	ざんねんないきもの事典	もっと	今泉 忠明 // 監修
IB	490	安楽死・尊厳死を語る前に知っておきたいこと		安藤 泰至 // 著
	490	医者をめざす君へ:心臓に障害をもつ中学生からのメッセージ		山田 倫太郎 // 著
	491	図解でわかる14歳から知る人類の脳科学、その現在と未来		松元 健二 // 監修
S	494	リハビリ		長谷川 幹 // 著
	498	野菜のとおり方早わかり		川端 輝江 // 監修 解説
S	498	優生学と人間社会		米本 昌平 // [ほか] 著
	507	国立大学で工学を学ぼう		国立大学56工学系学部長会議 // 監修
S	601	スローシティ:世界の均質化と闘うイタリアの小さな町		島村 菜津 // 著
S	675	「つくす」若者が「つくる」新しい社会:新しい若者の「希望と行動」を読		藤本 耕平 // 著
M	726	はたらく細胞BLACK	4	原田 重光 // 原作
	726	孔明のヨメ。	10	杜康 潤 // 著
B	814	明治生まれの日本語		飛田 良文 // [著]
	855	フランス語ほんとうに必要なところをまとめました。		関 未玲 // 著
	910	全国作家記念館ガイド		作家記念館研究会 // 編
B	913.6	魔法科高校の劣等生	29	佐島 勤 // [著]
B	913.6	後宮妃の管理人		しきみ 彰 // [著]
B	913.6	五位鷹の姫君、うるはしき男どもに憂ひたまふ		汀 こるもの // [著]
	913.6	教室が、ひとりになるまで		浅倉 秋成 // 著
B	913.6	三鬼		宮部 みゆき // [著]
B	913.6	きみの世界に、青が鳴る		河野 裕 // 著
S	914.6	知の体力		永田和宏 答えは必ずあると思っはいけない-細胞生物学者で歌人の著
B	914.6	時をかけるゆとり		朝井 リョウ // 著
	914.6	孤独論		田中 慎弥 // 著
B	917	上野千鶴子のサバイバル語録		上野 千鶴子 // 著 過去の著作群から抜粋した140の金言
	933	Franny and Zooey	洋書	J. D. Salinger